

こども MIRAI 基金きしわだ

第4期 パートナー団体 募集要項

募集の趣旨

近年、全国的に人口減少が進む中、岸和田でも特に若い子育て世代の流出がみられます。また、世界情勢の影響による物価上昇等は留まるどころを知らず、暮らしの課題はより深刻化、複雑化し、こどもたちを取り巻く環境は、ますます厳しくなっていると云わざるをえません。

これからの時代を生きる岸和田のすべてのこどもたちが、平等に教育を受けることができ、自分らしさを大切にしながら夢と希望の中で未来を描き、「生きていてよかった」と思えるような岸和田のまちをつくりたい。また、なんらかの事情で困難に直面しているこどもが「前に進みたい」と思ったときに、その思いをバックアップできる大人を増やしたい。

この基金は、そんな「未来」に思いをつなぐために、経済人が中心となり、地域で主体的にまちづくりに取り組む市民や、商業、福祉における中間支援組織の知恵と力を結集し、わがまちで生まれ育つこどもたちの健やかな育ちを支えることを目的として設立しました。

私たちは、この基金の事業を通じて岸和田のこどもたちを取り巻く現状をより多くの経済人にも伝え、行政や専門機関だけでは手が届きにくいこどもたちへの支援を行う市民活動の現場を支えたいと考えています。

このたび、2025年度に引き続き、第4回目の「パートナー団体」の募集をする運びとなりました。ぜひご活用ください。

募集対象となる団体

岸和田市内に活動拠点を置き、なんらかの生きづらさを抱えたり、孤立しがちな環境にあるこども（および家族）への支援を行う市民活動団体

※法人格の有無や種類は問いません。

※団体の活動年数により、

※最低限の事務局体制や事業報告・会計報告など、活動や運営に必要な基盤が整っていることが望ましいですが、提出が難しい場合は事務局にご相談ください。

対象となる取り組み

なんらかの生きづらさを抱えたり、孤立しがちな環境にあるこどもたち（および家族）が孤立せず、地域のさまざまな人とのつながりの中で健やかに育つことを支える取り組み

(例)

- さまざまな事情で困難を抱えているこどもたちを支援する取り組み（生活困窮支援、フリースクール、居場所づくりなど）
- 病気や障害などがあるこどもやその家族がお互いの経験を共有するセルフヘルプ活動、社会での理解を深めるための研修やワークショップの開催など
- こどもに関わる地域課題を広く市民に伝え、支援の重要性を共有するセミナーやシンポジウムの開催
- 学校の教科学習以外で、社会生活を送る上で必要な知識やスキルを学べる教育プログラムの開発、提供（キャリア教育、性教育など）
- こどもたちが岸和田のまちの課題に触れ、こどもの視点から課題解決に関わるような取り組み
- こどもたちに地域の伝統文化や企業の持つ技術などを伝え、まちへの愛着を深められるような取り組み
- その他パイロット的な事業や活動の実施（+検証や振り返りなど）
- 上記のような取り組みを行う団体の組織運営にかかる取り組み（会議の開催、拠点の家賃等）

※団体スタッフやボランティアなどの関係者のみで行う交流会等の取り組みは対象となりません。

※今取り組まれている活動が対象になるかご不明な場合は、お気軽に事務局までお問い合わせください。

協力金の金額

(1) ステップアップコース 50

【対象となる団体】

応募時点で団体を立ち上げてから 1 年以上の取り組み実績があり、専門性の高いスタッフを配置するなど、さらに組織基盤と事業を充実・発展させるための財源を必要としている団体

【協力金額】

1 団体あたり上限 50 万円／3～4 団体

※希望される協力金の金額が 50 万円に満たない場合は、団体の取り組みに必要な金額で申し込んでください。

※既存事業・新規事業いずれの経費にも使っていただけます。事業の経費だけでなく、組織そのものの運営を支える経費や人件費等にも活用可能です。

※ただし、組織の運営のための助成金が行政などから交付されている場合は、組織運営費は対象になりません。事業の実施費用については応募できます。

(2) チャレンジコース 10 ※第 3 期から新設

【対象となる団体】

応募時点で団体を立ち上げて 3 年未満の団体、またはこれから活動を始めようとしている団体で、これから一緒に活動を進めていく仲間を募ったり、団体の認知度向上のための広報活動にかかる財源を必要としている団体

【協力金額】

1 団体あたり上限 10 万円／4～5 団体

※希望される協力金の金額が 10 万円に満たない場合は、団体の取り組みに必要な金額で申し込んでください。

※既存事業・新規事業いずれの経費にも使っていただけます。ただし、団体の組織基盤を整えるための研修費や会議費、団体の認知度を高めることを目的としたイベントや広報活動に必要な経費が支援対象費目となります。（人件費には使用できません。）

※行政、社会福祉協議会等からスタートアップのための助成金が交付されている場合は、それらの助成金の対象費目とは重複しない経費であることを明確にした上で、応募してください。

協力期間

2027 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日（1 年間）

選考基準

【課題意識】

岸和田のこどもたちを取り巻く現状や課題が明確に示されているか

【目的】

課題解決や新たな挑戦に向けて、団体・組織の目指したい姿が明確か

【実施内容】

目的を達成するための事業計画や組織体制等は適当か

【実現可能性】

今回の支援を通じて、岸和田のこどもたちを取り巻く環境の改善や、こどもたちが孤立しないためのつながりづくり、新たな支援プログラムの創出につながりそうか

【継続・発展性】

今回の支援をきっかけに、組織や事業の継続性が高まり、今後の発展性を期待できるプロジェクトであるかどうか

【協力体制】

岸和田のまちでさまざまな人たちの協力が生まれる取り組みであるかどうか（地元企業との連携や岸和田の伝統文化、技術を提供できる人や組織との連携、岸和田で活動するボランティア同士の連携など）

選考のスケジュール

2026年7月1日(水)～8月17日(月) 2027年度パートナー団体応募申込書の提出
↓
2026年9月16日(水) パートナー団体選考のための審査会の開催とパートナー団体の決定
↓
2026年11月～2027年2月末 企業サポーターの募集(協力金の募集)
↓
2027年3月上旬 協力金額の確定
↓
2027年3月10日(水) 2027年度パートナー団体への協力金贈呈式
↓
2027年3月31日(水) 2027年度パートナー団体への協力金の入金

応募手続きの流れと提出書類

(1) 申請書類の提出期限について

2026年7月1日(水)～8月17日(月)

※原則メールでの提出をお願いします。難しい場合は事務局にご相談ください。

(2) 申請に必要な書類について

①2027年度パートナー団体応募申込書(所定の様式)

※コースによって異なりますので、お間違えの無いようご注意ください。

②団体の会則・定款など(団体として規定していない場合はご相談ください)

③2025年度の団体の事業報告書および決算書(または活動や会計の内容がわかるもの)

④2026年度の団体の事業計画書および予算書(または活動や会計の内容がわかるもの)

⑤その他、団体の事業案内のパンフレットや実施事業のチラシなど

申請後の流れについて

- 8月19日(水)に書面による1次審査を行い、通過された団体には、メールでご案内いたしますので、
9月16日(水)の審査会で、代表の方のプレゼンテーション(チャレンジコース10への応募団体については面談)へのご出席をお願いします。オンラインでの出席も可能です。
- パートナー団体としての採択結果を、事務局から代表の方にメールでご連絡させていただきます。
- 企業サポーターの募集に際して、パートナー団体の情報を基金のウェブページに掲載します。広報作成のプロセスではご協力をお願いします。
- 企業サポーター募集に際しては、パートナー団体のみなさまもぜひチラシ配布やウェブページの拡散など広報にご協力いただきますようお願いいたします。
- 企業サポーターの募集が終わりましたら、基金とパートナー団体で覚書を締結し、完了後に協力金を指定の口座へお振り込みします。
- 協力期間中は、基金の運営委員会での中間報告をお願いする場合があります。ご協力ください。
- 協力期間終了段階で報告書(会計報告を含む)をご提出いただきます。また、必要に応じて事務局によるインタビュー/ヒアリングの実施や報告会等への参加に協力をお願いする場合があります。広く企業や市民のみなさまに活動を知っていただくためにも、ご協力をお願いいたします。
- パートナー団体として決定し、団体の口座への振り込みが完了した後であっても、事業開始後に、配分の要件を満たさなくなった場合、また、基金の趣旨にそぐわない取り組みに配分金を使用されていると運営委員会が判断した場合は、返金していただくことがあります。

■お問い合わせ先

こどもMIRAI基金きしわだ事務局(株式会社北海鉄工所内)(平見・北野・青山)

住所: 596-0013 岸和田市臨海町20-18

電話番号: 072-438-1381 (土日・祝祭日を除く9時～17時)

メールアドレス: comin.kishiwada@gmail.com

以上